



「開会式」演出のねらい

豊穡な希望に充ちた地球未来のために、今、私たちに求められているものは何か。

20 世紀、人類は自然を利用し、征服し、改造することにより、文明を築き上げてきた。

21 世紀、その物質的豊かさを追求した人類の活動は、「資源は有限」という宿命的課題を乗り越え、「自然との調和」を再確認しながら、「自然の叡智」を活用することで「持続可能な成長社会」を具現してゆかなければならない。

愛・地球博、2005 年日本国際博覧会の開会式は、まさにそのような精神的スタンスの上に立って展開される。

“ AICHI に集まろう。互いにみつめあい、微笑み交わし、抱き合い、多彩な知恵の交流する世界を、全身で体験し、全感覚で楽しもう ”…。
21 世紀初頭を飾る万博の開会式は、全地球的な相互理解のための、叡智輝く第一歩の舞台とならなければならない。世界は一つ。愛と平和を希求して愛知の地に湧き起こる声が、瀬戸、長久手の天空に高らかに響き渡る。

(演出統括・岡崎栄)